

清友

No. 4
2009年10月



金沢 兼六園

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

全国高齢者集会

9月15日、日比谷公会堂に全国から2千人の仲間が結集し、全国高齢者集会が開催されました。

真柄全国退職者連合会長は、政権交代を日本戦後史の革命的転換点と表現、高齢者いじめ・格差社会の克服に期待を込めて鳩山政権を支持し、年金等の制度設計見直しや、後期高齢者医療制度の即時廃止などを目標とする考え方を表明しました。

09全国高齢者集会



また、高木連合会長は、新政権に国民の不安・不信の払しょくとマニフェストの実現、高齢者の要求実現に期待すること、連合として、社会保障のセーフティネット機能・公的保障の強化により「労働を中心とした福祉型社会の実現」を目指して取り組むと挨拶しました。

法に基づく自治・分権の拡充、核兵器廃絶の実現です。続いて、「年越し派遣村」村長など格差社会問題に取り組んでいる湯浅誠さんの「貧困と格差社会の変革」をテーマにした講演を受けました。湯浅さんは、日本の社会を、一度こけたらとどめなく落ちる「すべり台社会」と定義し、誰もが貧困に落ち入る可能性があること、非正規労働の廃止や社会保障の充実が必要と力説しました。



「派遣村」村長 湯浅誠さん



デモ行進する清掃退職者会



全国高齢者集会銀座デモへ向かう自治退

09 全国高齢者集会アピール

2009年9月15日

09 全国高齢者集会は、政権交代を実現した興奮も冷め遣らぬ中で、本日、日比谷公会堂に全国から2000名余の仲間が集まり成功裏に行われました。

安心、信頼の社会保障制度の確立を求めて運動を続ける中で、政権交代の必要性を痛感していました。長い道のりでしたが、ついに実現しました。国民一人一人の力で半世紀余続いた自民党中心の政治に終止符を打ちました。

国民の生活を第一に考える民主党が中心となる政権が実現しました。

55年体制と云われて以来日本では、政権は自民党のもの、政治は自民党がやるものと思われてきました。そのため、予算の組み方からその執行、各省庁の仕事の進め方、政府と地方自治体、内閣と国会の関係等、政治の全てが自民党の意のままに制度化、慣行化していました。政権交代が無かった日本の政治の悲劇です。

新政権の仕事は、旧来の政治手法の総点検から始まります。今までの行政や政治のあり方を国民の目線で見直し、良いものは残し、悪しきを変えていく事から始まります。これには大変な努力と忍耐が必要ですが、これを成し遂げてこそ、新しい財源が捻出され、新しい政治が始まります。

新政権は、この政治作業を進めながらマニフェストを順次実現していくことになるでしょう。退職者連合は、新政権のこの作業に全面的に協力します。

退職者連合は、新政権のこの作業と、政策実現の歩みと共に私たちの要求の前進をはかります。あせらず、着実に前進させましょう。

年金、医療、介護等、社会福祉を大切にし、充実した社会保障制度のもと、高齢者が安心して暮らせる日本、若者が未来に希望を持てる日本、戦争をしない日本、世界平和に貢献する日本、そんな21世紀の日本を目指し、私たちの運動を前進させましょう。

中央・地方、現・退一致、共に頑張りましょう。

9・14 地公四単産・地公退 高齢者集会宣言

2009年9月14日

猛暑のなかでの厳しい総選挙に勝利し、念願の政権交代実現で、国民のくらし第一の政治への具体的な取り組みがスタートしました。

私たちは、これまで地方四単産・地公退に結集して、平和・人権・民主主義・社会保障の確立など、多岐にわたる運動を積み上げてきました。そして、今日ここに、全国から700人の仲間が集い、9・14高齢者集会を開催しました。

長期にわたる自公政権は、世界の平和を求め、社会保障を充実して安心・安全の社会のなかで心豊かに生きたいという私たちの願いに逆行する、厳しい競争と格差・貧困を生み、社会保障制度を危機的状況にさらしています。

国民皆保険・100年安心年金への不信、国民年金保険料納付率60%という現状、長引く不況のなかでの多くの労働者の解雇、税制事情優先の年金・医療・介護等の社会保障の後退等がつづき、国民の不安や不信が拡大してきました。

私たちは、公務員としての誇りと、生活者としての自信を持って、声を上げながら、雇用を確保し、継続可能な制度・政策を実行するよう要求していかなければなりません。

また、被爆から65年を迎えるに当たっての「核兵器廃絶を求め1000万署名」や雇用の冬はこれからというなかでの「雇用と就労・自立支援カンパ」にも積極的に取り組み、その成果が見えるようにしていくことが重要です。

地公四単産・地公退に結集する私たちは、所期の目的を達成するために、更に団結を強化して「戦争の放棄、軍縮・交戦権の否認」を謳っている日本国憲法第9条を守り、「生存権と国の使命」を規定している第25条に基づいて、力強く生きることをここに宣言します。

東京清掃第78回定期大会

結成60年・区移管から10年の節目 盤石な態勢の確立へ向け決意



杉並工場岩田代議員はじめ7名が討論に参加

東京清掃は、49年6月の結成から60年、区移管から10年経ち、大きな節目を迎えました。

9月28日、全電通会館で第78回定期大会を開催、退職者会から来賓として鈴木副会長と庄司事務局長が参加しました。

経過報告、運動方針、会計予算の審議の中で交わされた主な議論は、①賃金闘争における特



区連との共闘の確立、②事業執行統一交渉拡大の方策、③清掃工場で進行する業務委託阻止の闘い方、④清掃工場支部の組織率が52%になっている現状を打破する方策と委託・派遣労働者との連帯の確立、⑤各区で進行する合理化を阻止するため、本部が果たすべき役割の強化、⑥級昇格の道を確保

本部常任執行委員

- 中央執行委員長 西川 卓吾(江東)
- 副中央執行委員長 吉田 寿(練馬)
- 副中央執行委員長 纈 纈 朗(墨田)
- 書記 長 染 裕之(中野)
- 書記 次 長 桐田 達也(文京)
- 財政 部 長 大和田 功治(渋谷)
- 組織 部 長 山崎 英美(世田工)
- 共闘 部 長 松本 稔(品川)
- 賃金 部 長 野崎 優三(板橋東)
- 現業 部 長 木川 治(江戸川)
- 教育 宣 伝 部 長 坂本 浩明(玉川)

組みを進めるための基盤を造り上げたいという考え方が、改めて表明されました。

大会の最後に、西川委員長が「地公法適用の単一労組として、盤石な態勢をつくり、厳しい情勢を切り開くため頑張ろう」と決意を示し、参加者全員で確認しました。

なお、今年の大会で、金澤副委員長、金子副委員長、大島書記長、山崎財政部長が退任し、新たな三役・常任は別記のとおり、大幅に若返りました。本部のこれからの取組みに期待したいと思います。

自治研集会



市民とともに、環境保全・資源循環型清掃事業の実現とサーマルリサイクルの検証をテーマに開催

9月2日、神宮外苑の日本青年館で、第50次東京清掃自治研集会が開催され、各級議員35人を含め、市民、下請関連協など137人が参加しました。

集会のメインテーマは「区民・事業者・行政とともに予算要求・政策要求を創る運動を通じて環境保全・資源循環型清掃事業を実現しよう」、サブテーマは「サーマルリサイ

クルを検証する」です。

基調報告の後、北区・品川区の戸別収集の取組みと、プラスチック混合焼却実施後の清掃工場の実態が報告され、市民団体の「23区プラスチック懇談会」から、①サーマルリサイクルは環境負荷の面で問題、23区は容器包装プラの分別回収を早期に実施すべき、②23区・清掃一組・都と三層化した各自治体の廃棄物行政に対する責任のあり方が問われているとの問題提起を受けました。

その後、収集部門、工場部門、23区プラスチック懇談会メンバーによるパネルディスカッションを行い、会場からも活発な意見が交わされました。市民団体は、廃棄物行政の転換へ向けた東京清掃の取組みに期待しています。集会は、市民との連携を強化し、明快なメッセージを発信していくことを改めて確認しました。

清友会親睦旅行 参加は27名

10月2日現在、27名の参加申込みがありました。部屋割り等は、11月2日に三役会を開いて決めたいと考えています。

●集合時間・場所

- ▽11月9日(月)
- ▽新宿西口・安田生命ビル前
- ▽8時出発の予定(集合し次第出発)

核廃絶 1000万人署名

取組みのご協力ありがとうございました。まだ署名を提出していない方は、至急、本部事務局へ郵送してください。

勝ち取る国鉄労働者 1047名の解雇撤回! つくりだそう戦争と貧困のない社会を! 10・25 団結まつり

団結まつりの案内

- 日時 10月25日(日)
10時～15時
- 場所 木場公園イベント広場(江東区)
※最寄り、東西線「木場」または都営新宿線「菊川駅」



昨年の団結まつりフィナーレ

国鉄労働者1047名の闘いは、正念場を迎えています。解決への道を決定付けるため、10月25日、木場公園イベント広場(例年の「亀戸中央公園」ではありません)で、「団結まつり」が開催されます。

国鉄闘争の解決と、貧困・格差社会の解消、平和と民主主義の実現へ向けた団結まつりを主体的に担ってきた東京清掃は、今年も5地連、青年部・女性部が模擬店を出す予定です。退職者会のみなさんも、是非参加ください。